

TAHARA

株式会社 **タハラ**

JSW group

The world leader of
Electric Extrusion
Blow Molding
Machine

TAHARA

JSW group

会社概要



企業理念

常に新しい価値の創造にチャレンジし、
地球に優しいものづくりを目指します。



経営理念

タハラの社は
TAHARA'S 3C

挑戦
Challenge

創造
Create

研鑽
Cultivate

私達の普段の生活の中にもタハラのブロー成形機で成形された製品が沢山あります。シャンプーや洗剤などの日用品容器をはじめ、マヨネーズやドレッシングなどの食品容器、マスカラや日焼け止めなどの化粧品容器、その他にも医薬品・文房具・自動車部品・工業用品など幅広い分野におよびます。タハラはそれらの製品に更なる付加価値を与えると共に、電気消費量や樹脂消費量の削減により、環境にも優しい成形機の開発に今後も全力を尽くして参ります。

JSWとの関係

2006年より株式会社タハラはプライム市場上場企業である株式会社日本製鋼所(JSW)のグループ会社となりました。

2021年からは中大型ブロー成形機(プラスチック燃料タンク用ブロー成形機を除く)の製造・販売・保守サービス事業がJSWからタハラへ移管となりました。

タハラはJSWグループのプラスチック成形機事業において、小型～大型汎用ブロー成形機を製造する役割を担っております。

TAHARA

JSW
THE JAPAN STEEL WORKS, LTD.

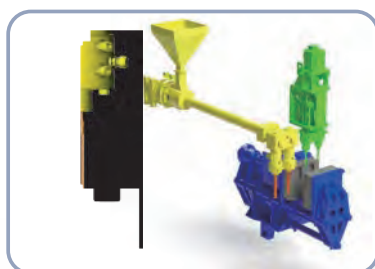


Extrusion Blow Molding Machine

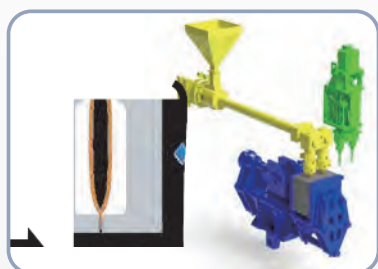
ダイレクトブロー成形機とは



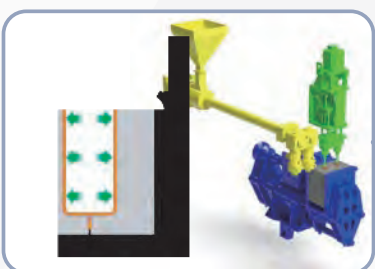
プラスチック樹脂を押出機内に投入し溶融させる。



溶融した樹脂をパリソン(円筒状)に押し出す。



押し出したパリソンを金型で挟む。



金型で挟んだ後、内部に空気を吹き込んでボトルを成形する。



金型開いた後にバリ(不要部分)を機械内で取り除いて完成。

ダイレクトブロー成形機のメリット

- ・ダイレクトブロー成形機用の金型は、ストレッチブロー用やインジェクションブロー成形機用の金型よりも安価で製作することができる。
- ・異形品(取っ手付)も成形できる為、後工程で取っ手をつける必要がなくなる。
- ・異なる樹脂を積層させた多層成形が可能で、付加価値の高いボトルを成形できる。



世界のニーズに応えるタハラの 電動式ブロー成形機

タハラは1994年に世界で初めて全電動式ブロー成形機の製造・販売を開始しました。従来の油圧式では解決する事ができなかった問題（品質安定性・生産性・経済性）に着目し、日々成形機の改良に取り組んで参りました。国内のみならず、海外のお客様にも認められたタハラの全電動式ブロー成形機は既に1200台以上が世界中の工場で稼働しております。



▶ 品質安定性

[不良率の減少]

高い繰り返し位置精度と動作時間の一定化により、良品を安定して成形できる。

[製品重量及び肉厚のバラツキ低減]

パリソンの長さが一定となるように自動制御を行い、製品重量や肉厚にバラツキがない成形が可能。

[口部カットの品質安定化]

押出機を上昇させながらサーボ駆動のカッターでパリソンをカットするため、カット後のパリソン形状が安定し、打込時の肉の持ち込みを防止。口部形状の優れた製品を安定して成形できる。

▶ 生産性

[成形サイクルの短縮]

ACサーボモータ駆動のため、最大スピードでも衝撃のない動きができ、ドライサイクルも大幅に短縮。

▶ 経済性

[メンテナンスフリー]

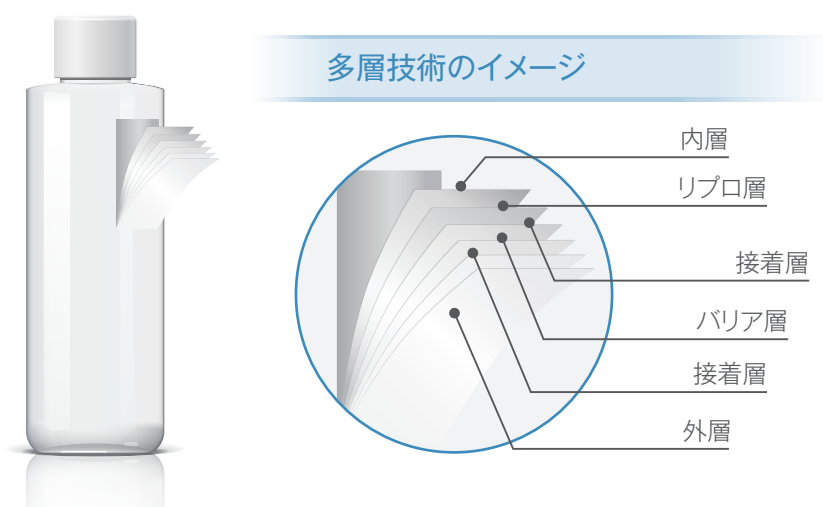
定期的な作動油の交換やパッキン・オイルシールの交換が不要で、メンテナンス費用の大幅な削減が可能。

[消費電力の削減]

油圧式に比べ、消費電力を40～60%削減。

多層技術によるメリット

ダイレクトブローの大きなメリットの一つは多層成形が可能な事です。
私たちの普段の生活に欠かせない食品容器・調味料容器・化粧品容器の多くには、
製品の品質を向上させる為にタハラの多層技術が使用されています。
またリサイクル材を使用する事で原料コストの削減にも貢献しております。



● タハラでは、すべてのユニット（パリコン・押出機・多層ヘッド・型締装置・打込装置等）を自社のオリジナルデザインで製作しております。

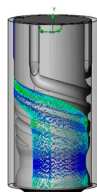


成形機の各ユニットをすべて自社生産できるメーカーは多くありません。タハラでは難しい多層ヘッドをはじめ、すべてのユニットを社内で設計・製作しています。

▶ 多層ヘッドの製造工程



層構成・樹脂選定
多層の構成と
使用樹脂を選定します



ヘッド設計
タハラ独自の計算方法にて樹脂に
合わせた最適なヘッドを設計します。



ヘッド部品製作
多層ヘッド部品は
全て社内にて製作します。



組立・検査
厳しい基準の社内検査を経て、
出荷されます。

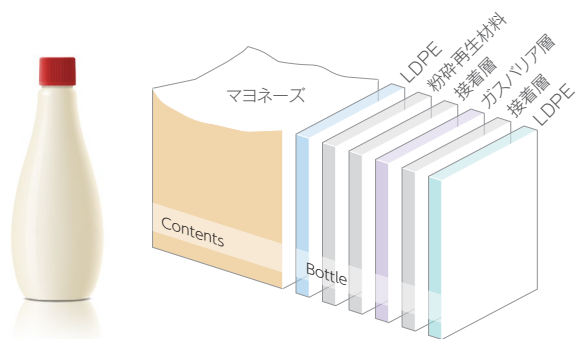
▶ 多層用途の例

用途例 1 食品・調味料

層構成

LDPE / REG / AD / EVOH / AD / LDPE

内層 ————— 外層



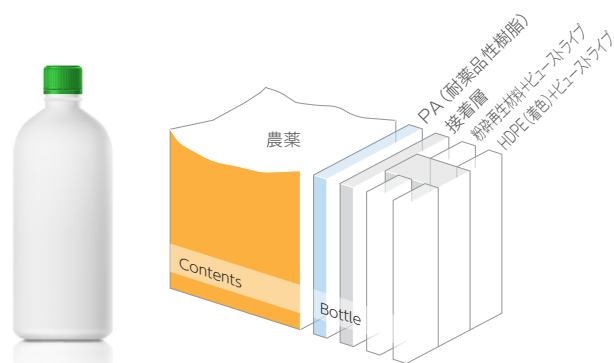
バリア層(EVOH)が外側からの酸素の透過を防ぐことで、内容物の酸化を抑え、賞味期限を延ばすことができます。

用途例 2 農薬容器

層構成

PA / AD / REG / HDPE+ビューストライプ

内層 ————— 外層



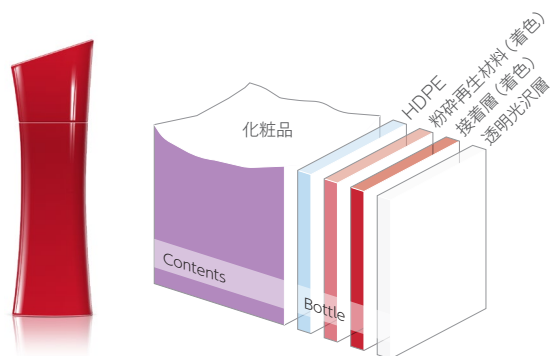
内層にナイロン(PA)を使用することで、農薬と容器の化学反応を防ぎます。また、内容物の残量が見えるストライプ窓をつけることができます。

用途例 3 光沢容器

層構成

HDPE / REG / AD / PET-G または EVOH

内層 ————— 外層



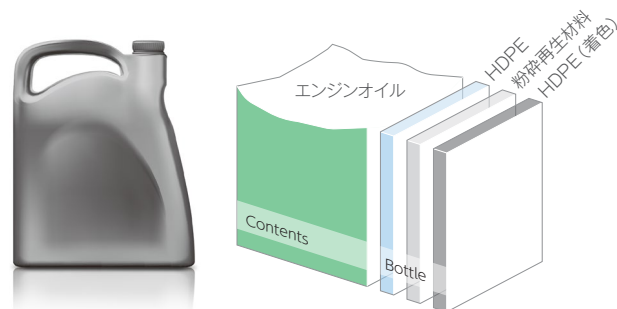
外観に光沢性の高い樹脂(PET-GやEVOHなど)を使うことで高級感のある製品ができます。
PET-G：光沢と奥行きのある外観になる
EVOH：成形後の印刷性が良い

用途例 4 環境配慮・原材料削減

層構成

HDPE / REG / HDPE

内層 ————— 外層



中間層に粉砕材・再生材・バイオ原料等を使用し、環境に配慮した容器を成形できます。また、外層にのみ着色材を使用することで、原材料費の削減ができます。

サービス体制

▶ アフターフォロー

成形のご相談や成形機のトラブルは、タハラへご連絡ください。専門のスタッフが解決策をご提案いたします。電話やメールで解決しない場合は、迅速に技術者を派遣します。トラブル解消・修理だけでなく、長期使用いただくためのアドバイスも合わせて行います。

▶ テスト設備

テスト設備として単層成形機、多層成形機、インジェクションブロー成形機を保有しています。成形機購入前の参考としてサンプルを試作することが可能です。

また、テストした成形品をチェックするために、肉厚分布検査や座屈検査をする機器も取り揃えています。

▶ 周辺機器と同時納入

コンベアや粉碎機、リークテストなどの各周辺機器も成形機と合わせてセットアップが可能です。

▶ トレーニング

ブロー成形機導入前にトレーニングを実施できます。トレーニングは、成形機を扱うために必要な内容を網羅しているので、初めての方でも安心してお使い頂けます。内容はご要望に合わせてカスタマイズ可能です。また、ブロースクールも随時開校しています。事前に技能を習得しておきたい場合はスクールもご活用ください。

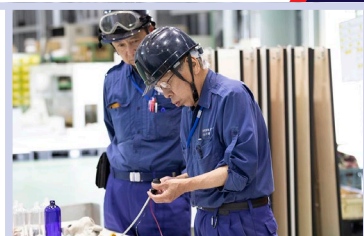


CHECK



まだ無い商品にも挑戦

カタログに無い仕様の商品でも、出来るかもしれない。物を作ることに前向きに取り組む人間の集まりです。小さな事でも、気軽にお問合せください。



TAHARA

株式会社 タハラ



本社・工場
〒270-1369
千葉県印西市鹿黒南2-1
Tel.0476-21-1991
Fax.0476-21-1995



大阪支店
〒577-0012
大阪府東大阪市長田東3-2-43
Tel.06-6747-4336
Fax.06-6747-4338

<https://www.tahara-mc.com>



会社概要 Company Profile

商 号	株式会社タハラ
Name	Tahara Machinery Ltd.
資 本 金	50,000,000円
Capital	50,000,000yen
本 社 ・ 工 場	〒270-1369 千葉県印西市鹿黒南2-1 Tel: 0476-21-1991 / Fax: 0476-21-1995
Headquarters and Factory	2-1 Kaguro-Minami, Inzai-shi, Chiba, 270-1369, Japan Tel: +81-476-21-1991 / Fax: +81-476-21-1995
大 阪 支 店	〒577-0012 大阪府東大阪市長田東3-2-43 SKパークビル705 Tel: 06-6747-4336 / Fax: 06-6747-4338
Osaka Office	705 SK Park Build.3-2-43 Nagata-higashi, Higashiosaka-shi, Osaka 577-0012, Japan Tel: +81-6-6747-4336 / Fax: +81-6-6747-4338
代 表 者	代表取締役社長 植田 祐治
President	Yuji Ueda
事 業 内 容	ブロー成形機の製造・販売
Business Description	Manufacturing and sale of blow molding machines.
建 設 業 許 可	機械器具設置工事業 千葉県知事許可(般-1)第53782号
Construction License	Machine and Equipment Installation Work Approved by the Governor of Chiba Prefecture License No. 般-1 53782 The Period of Validity: 2025 March 9th
古 物 商 許 可	古物営業(中古機械及び中古部品の売買) 千葉県公安委員会許可 第441120001282号
Antique Dealer License	Antique sales (buying and selling of used machines and used parts) Chiba Prefecture Public Safety Commission Permit No. 441120001282
株 主	株式会社日本製鋼所
Shareholder	The Japan Steel Works, Ltd.
取 引 銀 行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行
Correspondent banks	Mizuho Bank, Mitsubishi UFJ Bank, Sumitomo Mitsui Banking Corporation
成 形 機 輸 出 先	インドネシア、タイ、ベトナム、シンガポール、メキシコ、フィリピン、台湾、韓国、中国、アメリカ、ポーランド、サウジアラビア 他
Export Market	Indonesia, Thailand, Vietnam, Singapore, Mexico, Philippines, Taiwan, Korea, China, USA, UAE, Poland, Saudi Arabia, etc.



代表取締役社長 植田 祐治

President and Representative Director
Yuji Ueda

タハラは1951年に鉄工業の会社として創業。以来70年以上に渡り、真摯にもものづくりに励んで参りました。ブロー成形機の開発に成功したのは1961年。業界の黎明期より、常にお客様のご要望にお応えすることを心がけて参りました。そして現在では、専門メーカーとして多くのお客様にブロー成形機をご愛顧いただくまでになりました。

いづどんなときもお客様の立場に立ち、高度で多様化するご要望にお応えし続ける。その姿勢を大切に、これからもより良いブロー成形機の製造を目指して参ります。技術革新に終わりはありません。これからも新たな技術を創造し、研鑽を怠らず、何ごとにも挑戦し続け昨日より今日、今日より明日と、日々、技術の向上を目指します。そして、いつのときもお客様に必要とされる存在であり続けます。

Tahara Machinery Ltd. has established as an iron factory in 1951. Ever since, over 70 years, we have devoted ourselves to creative designs and manufacturing.

We have succeeded in developing the Blow Mold Machines in 1961. Since early days of this industry, we keep trying to provide every need of our customers. And today, as a specialized manufacturer, we are very grateful for the patronage from our customers both domestically and internationally.

We think from the customer's perspective, then continuously meet the sophisticated and diversified needs. We value this manner, and aim to manufacture the best machines going forward. Innovation never ends. We challenge, create, and cultivate to improve new technologies every day. We promise to be your best business partner at all times.

1951

田原秀雄が東京都江東区砂町にて鉄工所を創業
Hideo Tahara establishes an iron factory in Tokyo.

1961

- ・有限会社田原鉄工所を設立
- ・油圧式ブロー成形機(TBMAシリーズ)の販売開始
- ・The company is incorporated as Tahara Iron Works Co., Ltd.
- ・Develops first blow molding machine, TBMA (parison lift type) series and introduces to the market.

1967

東京都江戸川区北葛西に移転
The office and factory moved to Edogawa-ku Tokyo.

1969

田原機工株式会社に改組
The company is reorganized as Tahara Engineering Co., Ltd.

1971

- ・大阪支店開設
- ・油圧式ブロー成形機(TPシリーズ)の販売開始
- ・Osaka Office is established.
- ・Started sales of hydraulic blow molding machines (TP series)

1974

昭栄産業株式会社を吸収合併、
田原昭栄機工株式会社に社名変更
Merges with Shoei Industrial Machinery Ltd. and changes its name to Tahara-Shoei Engineering Ltd.

1989

株式会社タハラに社名変更
Changes its name to Tahara Machinery Ltd.

1994

世界で初めて
電動式ブロー成形機
(MSE、MBシリーズ)
の販売開始

Develops the world's first fully electric blow molding machine and introduces to the market. MSE, MB series



2006

株主が株式会社日本製鋼所(JSW)に変更
JSWのグループ会社となる
The Japan Steel Works, LTD. becomes the shareholder.
Becomes a JSW group company.

2014

電動式インジェクション
ブロー成形機
(HPSシリーズ)の開発
Development of electric
injection blow molding
machine (HPS series)



2018

電動式ブロー成形機の
累計生産台数が1000台を突破
The total production number of electric blow molding
machines breaks through 1000 sets.

2019

本社を千葉県印西市に移転・新工場設立
The office and factory moved to Inzai Chiba.

2021

電動式20Lジェリー缶
専用ブロー成形機
(TJSシリーズ)の開発
Development of electric
blow molding machine for
20L jerry cans (TJS series)



2023

電動式大ロット対応
ブロー成形機
(INNOVAREXシリーズ)
の開発
Development of electric extrusion blow molding machine for
mass lots (INNOVAREX series)

